

# Dream Tree 通信 ~2026年6月号~

## 「さあ、お店を経営しよう」

先月5月30日(土)、爽やかな青空のもと、エデュケアライズグループの一大イベント「ほたるの集い」が開催されました。当日は多くの方にご来場いただき、会場は笑顔と賑わいにあふれる一日となりました。

Dream Treeでは、子どもたちが主体となって企画・運営した「森の小さなかき氷屋さん」を出店。暑さを感じる陽気だったこともあり、たくさんのお客様に足を運んでいただき、大盛況となりました。しかし、この日の成功は当日だけで生まれたものではありません。



このプロジェクトは、「どんなお店を作りたいか?」のコンセプトを考えるとところから始めました。最近では、大人からも社会に出て「正解」がない世界に疲れてしまった…という声を多く聞きます。ゼロベースで、レゴブロックを使って「自分の内面にある”こんなお店にしたい”」というコンセプトを言語化するワークを実施。

さらに、看板づくりや接客の練習、役割分担などを重ね、「どうしたらお客様に喜んでもらえるだろう」と話し合いながら準備を進めてきました。昨年度は予想を超える来客で長い行列ができ、お待たせしてしまう場面もありました。その経験を振り返り、今年は子どもたち自身が「もっとスムーズに渡せる方法」を考え、味ごとの整理券を導入。また、看板も遠くから見やすいよう文字を大きく濃くするなど、自分たちなりの工夫を重ねて当日を迎えました。



本番では、お店の前で元気よく呼び込みをしたり、お客様から代金を預かって計算したり、完成したかき氷を笑顔で手渡したりと、それぞれが責任を持って役割を果たしていました。ただ商品を販売するだけではなく、「課題を見つけ、考え、改善し、行動する」という経験を積み重ねた子どもたち。その姿からは、昨年よりも一回り成長した頼もしさと、自分たちでお店をつくり上げる喜びが感じられました。



## 「外に出たがらない子どもに、どう声をかければいい？」

「家から出たがらないのですが、どう声をかければいいですか？」保護者の方からよくいただくご相談です。

外に出ることが負担になっている子どもにとって、「ほら、行くよ」「少しは外に出なさい」と言われることは、かえってプレッシャーになってしまうことがあります。そんな時は、まず子どもの興味や関心のあることをきっかけにしてみるのも一つの方法です。「好きなお菓子を見に行く？」「本屋さんに行ってみる？」「電車を見に行く？」など、「外に出ること」そのものを目的にするのではなく、「好きなことをしに行く」という形で誘ってみると、気持ちが動くことがあります。

もちろん、すぐに外へ出られなくても大丈夫です。大切なのは無理に連れ出すことではなく、「行ってみようかな」と思えるきっかけを一緒に探していくこと。焦らず、その子のペースを大切にしながら、小さな一歩を応援していきたいですね。

## 「看護師の仕事について学んでみよう」

こんにちは。6月より育児休業から復帰しました。スタッフの藤間です。改めてよろしくお願いいたします。



Dream Tree では、子どもたちが将来の進路や仕事について考えるきっかけづくりとして、さまざまな職業について学ぶ機会を設けています。この日は、現役の看護師の方から「看護師のお仕事ってどんな仕事？」をテーマにお話をいただきました。子どもたちは興味津々で、「どうやったら看護師になれるの？」「どのくらいお給料がもらえるの？」「どんなことが大変なの？」「やりがいは何ですか？」など、色々質問をしていました。

子どもたちにとって、将来の夢や進路はまだまだこれから広がっていくものです。今回の学びが、「こんな仕事もあるんだ」「自分にもできるかもしれない」と、新たな選択肢を増やすきっかけになれば嬉しく思います。(スタッフ 藤間)



DreamTree